

コラム あしやのうなひ おとめ 芦屋の伝説「芦屋菟原処女」

昔、灘地方の海辺には、湿地に生えるアシを刈って屋根を葺いた家が点在して、この辺りを芦屋の里と呼んでいました。この芦屋に菟原処女と呼ばれる美しい娘がいました。多くの男が彼女を恋しく思い、妻にしたいと願っていましたが、中でも同じ里の菟原壯士と和泉国(大阪府南部)からきた茅渟壯士(小竹田壯士)という立派な若者が最後まで競い合って彼女に求婚しました。2人は水の中でも火に入っても闘おうと、太刀を握り弓矢を取って激しく争いました。

しかし、菟原処女はこのようすを見て心を痛め、「私のような者のために、あんな立派なかたちを争わせた上は、この世で誰と結ばれましょう。黄泉の国で待っていきましょう」と、自ら死を選んでしまいました。その夜、茅渟壯士の夢に菟原処女が現れ「ああ、彼女が選んだのは私の方なのだ」と考えて茅渟壯士も後を追って死んでいきました。そのことを知った菟原壯士は地団駄を踏んで菌ざしりし、遅れてなるものかと、また、後を追って死んでしまったのです。

そこで3人の縁者たちが集まって、「若者の一途な心を後世に伝えてやろう」「そうだ、菟原処女の墓を中央に、2人の男の墓をその左右に並べて築いてやろう」と相談しました。こうして築かれたのが、中央の処女塚古墳(神戸市灘区所在)と、東側の東求女塚古墳(同市東灘区所在)、西側の西求女塚古墳(同市灘区所在)であるという伝説です。このため、中央の処女塚は前方部を南向きに、東西の両求女塚は前方部を処女塚に向けてほぼ等距離に築かれているのだといわれています。

この物語は、このあたりで最も古い伝説の一つで、奈良時代(8世紀)の3人の万葉歌人、高橋虫麻呂、田辺福麻呂、大伴家持がこの伝説を題材にして歌っています。そして後世、この伝説は多くの人の心を打ち、平安時代の『大和物語』、室町時代の謡曲『処女塚』『求女塚』、森鴎外の戯曲『生田川』に素材を与えました。また、この伝説からは、当時、芦屋の地名は、現在の市域よりもっと広い範囲を指していたことがわかります。なお、これらの古墳は、発掘調査によって古墳時代前期(3世紀後半～4世紀前半)の前方後円墳もしくは前方後方墳であることが分かっています。



芦屋市には長い歴史があり、さまざまな文化財が残されてきました。現地に行けば実物や解説板等により、その存在を確認できる市内の文化財を取り上げています。

※生涯学習課発行の『芦屋の文化財ハンドブック』を広報国際交流課が再編集して紹介しています。

芦屋市指定文化財 芦屋川の文化的景観

平成24年(2012)4月1日に「芦屋川の文化的景観」という名称で芦屋川の中・下流域を芦屋市指定文化財に指定しました。芦屋川は、源流の六甲山地から河口の大阪湾まで、芦屋市域西部を縦断するように流れています。芦屋川の地に暮らす人々は、昔から芦屋川がもたらす水の恩恵を受けました。しかし、頻繁に洪水を起す性格を合わせ、水害にも悩まされてきました。昭和13年(1938)に業平橋より南の川沿いのクロマツは昭和10年(1935)に業平橋以北の桜は昭和24年(1949)に植えられたものです。阪神大水害の後、昭和14～21年(1939～1946)の河川改修工事を経て、今日の姿となりました。芦屋川の流域には、国指定重要文化財旧山邑家住宅(ヨドコウ迎賓館)をはじめ、数多くの文化財があり、芦屋川の文化的景観の一部を形成しています。芦屋川の文化的景観は、六甲山地を背にする芦屋川がもたらす水の恩恵と水害の脅威が交錯して作られたもので、天井川と扇状地に適応して発展してきた芦屋市の成り立ちを示しています。なお、業平橋より南の川沿いのクロマツは昭和10年(1935)に業平橋以北の桜は昭和24年(1949)に植えられたものです。



芦屋川

芦屋市民センター内の文化財

芦屋市民センター本館の入口付近には、西山町にあった徳川大坂城東六甲採石場の刻印石を移設し、保存しています。この石材には日向佐土原藩(宮崎県 島津右馬頭忠興が用いたとみられる刻印)が彫られています。市民センターには、この他にも大正8年(1919)に建設された精道村立芦屋公会堂の屋根瓦や昭和52年(1977)に三条岡山遺跡(三条町)で出土した室町時代(14世紀末)の六麓荘緑地内には、平成16年(2004)に実施した、この場所を含む大規模な発掘調査で出土した刻印石4石、割石1石を集めて保存しています。



徳川大坂城東六甲採石場の刻印石

徳川大坂城東六甲採石場ケ平刻印群刻印石(六麓荘緑地)

これらは徳川大坂城東六甲採石場ケ平刻印群に伴う石材で、防長萩藩(長州藩、山口県 毛利長門守秀就が用いた刻印である)「大」二が彫られた石材が見つかっています。現地には解説板があります。



徳川大坂城東六甲採石場ケ平刻印群の刻印石

芦屋市指定文化財 徳川大坂城東六甲採石場奥山刻印群刻印石(芦屋市霊園)

平成5年(1993)に芦屋市霊園の拡張に伴い実施した、徳川大坂城東六甲採石場奥山刻印群の発掘調査によって出土した刻印石1石と割石12石を霊園北東部の一角に集め、保存しています。刻印石には、防長萩藩(長州藩、山口県 毛利長門守秀就が用いた)「〇」と「」の刻印が彫られています。この刻印石を「徳川大坂城東六甲採石場出土刻印石」という名称で、平成16年(2004)3月に芦屋市指定文化財に指定しています。現地には解説板があります。



徳川大坂城東六甲採石場奥山刻印群の刻印石

※現地には解説板があります。

KOBELCO 神戸製鋼グループ
ELEGAN KONAN 介護付有料老人ホーム
見学会開催 2016年1/20(水) 11:00~14:00
0120-65-8208
神戸製鋼グループ(神戸製鋼所85%出資)
神鋼ケアライフ株式会社
〒658-0015 神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号
TEL:078-411-9600 FAX:078-411-9674
ホームページ http://www.s-carelife.co.jp

セキスイ製 ポータブルトイレ
無償交換のお知らせ
お問い合わせ 積水化学工業株式会社
ポータブルトイレ回収窓口
【受付時間】9:00~19:00 ※土、日、祝日、年末年始を除く
0120-011-578(無料)
所在地 〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17

SEKISUI 広告
対象製品確認方法
ひじ掛けと背もたれにすき間があります
背もたれ ひじ掛け
すき間が約10cmあり
横から見た図 立体図
FAX 0120-231-756(無料)
E-mail products_j@sekisui.com
※お客様からご提供いただきました住所、氏名、電話番号などの個人情報は本件の対応以外には使用いたしません。